

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について（要請）

令和3年5月7日及び11日に、防衛省北関東防衛局より、令和3年5月下旬頃から約5か月間、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホーク6機（予定）が横田飛行場に一時展開されるとの情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化し、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要となっている中、行われるとのことですが、平成29年度以降、横田飛行場への一時展開は4回目であり、令和元年度以降3年連続となることから、横田飛行場への一時展開の常態化を含む今後の運用が懸念されます。

ついては、下記の項目について要請します。

記

- 1 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。
- 2 今回の一時展開に伴い周辺住民に影響を与える事項及び同機に関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和3年5月17日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	白 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	羽村市長	橋 本	弘 山
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之